

## 校外学習『未来館方式』による科学未来館見学（4／30）

今年度も、22名の中等部1年生と9名の高校1年生を迎え、高3から中1まで総勢52名の体制でサイエンスクラスがスタートしました。毎年、最初の校外学習は江東区にある科学未来館を訪問します。この見学は、本校で『未来館方式』とよぶ方法で行います。内容は次の通りです。

- ① 4人で一つの班を作り、全館をざっと回ります。その間に、各自が「これを勉強してみたい」というコーナーを決めます（30分）。
- ② 後に集合する場所を決め、それぞれが自分の決めたコーナーで勉強します。科学未来館では、どのコーナーにもインタープリター（説明員）がいますので、展示だけではわからない内容も詳しくお聞きして勉強できます（30分）。
- ③ 再び集合し、4人で各コーナーを回ります。勉強した生徒が説明します。最初は「東海大学附属浦安高校1年の〇〇です。これから、△△について説明します」と挨拶して始めます。周りにいた一般のお客さん達も説明を聞きに集まってきたりするので、かなり緊張すると思います。
- ④ 説明を受けた他の3人は、いくつかの質問をします。その後に、そのプレゼンテーションについて採点します（事前に採点用の用紙を配布しておきます）。これを4回繰り返すわけです（60分）。



① まず4人で全館を回ります



② 自分の選んだコーナーで勉強

日本科学未来館は、今年の4月20日(水)に常設展をリニューアルオープンしました。新しい展示に生徒たちは目を輝かせて勉強していました。勉強は、自分で分かっただけでは本物ではありません。それだけでは、『暗記』です。勉強した内容を誰かに説明できて、はじめて『知識』と言えます。しかも、高校生は中等部の1年生にもわかるように説明しなければならないので大変です。



③ インタープリターにより詳しく聞きます



④ 勉強した内容を他の生徒に説明します



本校校長が見守る中での発表でした。



新しい展示に夢中になりました。

前述したように、我がサイエンスクラスでは、最初の校外学習として『未来館方式』の校外学習を行います。それによって、単に科学の知識を得るだけでなく、プレゼンテーションの能力を磨くことにもつながるからです。また、秋の文化祭でのポスターセッションや公立小学校への（中高生による）出前授業、浦安市の「世界一行きたい科学広場 in 浦安」での出展発表のお手伝いなどでも、プレゼンテーション能力が向上していきます。

毎年の年度末に行われる、東海大学付属校の「S P P・S S H校成果発表会」での本校生への高い評価の出発点は、この校外学習にあります。

以上（文責 サイエンスクラス統括：佐藤勝美・大島文実）